

平成30年度

のく のく



～いつ来ても いつ帰ってもいい! 自分の責任で自由に遊ぶ空間～

「みのプレーパーク」

木や布や糸を使って好きなものを作ったり、焚き火をしてみたり、森に探検に出かけてみたり、ひたすら穴を掘ってみたり、な～んにもしないでポ～っとしてみたり。
「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、「やってみたい!」にチャレンジできる空間です。



8/25 (土)
予定になかったけど
週末プレーパーク
やっちゃおうよ!

金曜放課後プレーパーク

15:00～17:00 ごろ

無料

第1期

平成30年 6/8(金) ～ 7/20(金)

第2期

平成30年 10/12(金)～ 12/21(金)

第3期

平成31年 1/11(金)～ 3/8(金)

週末まる1日プレーパーク

10:00～17:00 ごろ(ほぼ月1回土曜)

参加費ひとり100円

平成30年

①5月19日 ②6月16日 ③7月7日

④10月13日 ⑤11月10日 ⑥12月1日

平成31年

⑦1月19日 ⑧2月16日 ⑨3月9日

雨天決行! 荒天中止! 申し込み不要! いつ来てもいつ帰ってもOK!

初回のみ「登録用紙」と「承諾書」に記入してもらいます

持ち物: 水筒、着替え

お昼をまたいで参加する方はお弁当(自炊可。調理器具あります)

場所: 岐阜県立森林文化アカデミー(美濃市曾代88)内「森の情報センター」及び周辺の森

共催: みのプレーパークの会/美濃市/森林文化アカデミー/みのインタープリタークラブ

この活動は「清流の国ぎふ森林環境税」「せきしん地域振興協力基金」を活用しています。

プレーパーク (冒険遊び場) の歴史

プレーパークは、戦後デンマークの焼け野原の瓦礫の山で遊ぶ子どもたちが、大人が用意した公園や遊具で遊ぶ時よりも自由に生き生きしていたことがきっかけとなりヨーロッパ各地に広まりました。

日本では 1970 年代に東京や神奈川でスタート。現在では全国に 300 箇所以上もあります。

(詳しくは「日本冒険遊び場づくり協会」のWEBサイトをご覧ください。)

どうして遊びなの?

遊びは、子どもにとって生きることそのもの。

遊びは、おもちゃの中にあるのではなく、子どもたちの中にあります。子どもたちは、遊びを通して、人との関わり、自己発見、好奇心、創造力、チャレンジなど成長する上で欠かせない大切なものを獲得していきます。

国連では、そんな子どもたちの遊びの権利について『子どもの権利条約 第31条』で触れています。

子供たちの権利をしっかり保障していきたいですね。

どんな場所なの?

『自分の責任で自由に遊ぶ』『心が折れるくらいなら骨が折れた方がマシだ』をモットーに展開される子どもたち主体の空間で、多少の怪我をしても、自分たちの『やりたい!』にチャレンジできる空間です。

とはいえ、他人が嫌がることや、場にそぐわない行動、治らない怪我になりそうな行動はNGです。

そして子供たちの遊びを見守り、過不足なく関わるプレーワーカー(プレーリーダー)が常駐しています。

保護者の方へ

プレーパークは、行政がサービスとして一方的に提供するものではありません。皆さんは参加者というよりも『共催者』。プレーパークは、活動に賛同した人たちが、行政と連携しながら自主的につくる、住民参加型の空間です。『こんなことやりたい』『こんなことお手伝いできます』そんな皆さんからの積極的な声、自主的な活動もお待ちしています。

楽しい空間を一緒につくっていきましょう!

お問い合わせ

担当: 萩原ナバ裕作

メール: navanava@pop02.odn.ne.jp

TEL: 090-9239-9187

バスの倉庫

森の情報センター

ここで
やってるよ!

岐阜県立
森林文化アカデミー

アカデミー看板

